

むなかたしぎかいぎいん いしまつ おさむ 修 宗像市議会議員 石松 修

議会定例会 一般質問の取り組み

むなかた市議会だより より

<https://ishimatsu.jp/>



石松修

検索



令和6年6月議会



人口減少社会・少子化対策は

宗像志政クラブ／石松 修



問 人口減少社会・少子化対策の取り組みは。

答 今年度、人への投資を重点施策とし、新たに奨学金返還や移住を支援する制度を設けるほか、雇用や就業の機会拡大、職場環境の改善などを進める。また、保育、介護分野などの人材確保の取り組み強化、若者の市内就職の促進、特別支援学校の開校を踏まえた障がいのある人の就業支援などについて、福岡労働局と雇用対策協定締結に向けた協議を重ねている。

問 JR九州の株主になり、連携強化できないか。

答 令和4年9月のダイヤ改正後、利便性が低下し公共交通への転換の妨げになっていると考えている。株式取得は連携強化につながるもので、検討すべき政策課題であると考えている。



令和6年3月議会



図書館・読書のまちづくり推進は

宗像志政クラブ／石松 修



問 図書館行政、読書のまちづくりの考え方は。

答 読書でかややく未来を築くまちを目指し、子ども、市民の読書活動推進のため、学校図書館事業や市民図書館事業に取り組み、気楽に本を手にとってもらう環境をつくっていききたい。学校図書館では、読書活動や読書指導の場の読書センターとしての役割に加え、学習活動を支援したり、授業の内容を豊かにしたり深めたりする学習センター、さらには、情報のニーズに対応したり、児童生徒



の情報収集、選択、活用能力を育成したりする情報センターなど、学校図書館を時代に即した多くの機能を持つものにし、子ども、先生、保護者など学校全体で活用することが大事と考える。市民図書館では各年齢層に応じた読書活動の支援を積極的にを行い、読書のまちづくりを行いたい。

令和5年9月議会



県立宗像特別支援学校(仮称) 校舎イメージ図



誰もが安心して働ける社会に

宗像志政クラブ／石松 修



問 県立宗像特別支援学校(仮称)の開校を見据え、福岡労働局と雇用対策協定を締結し、卒業生の就職支援など障がい者雇用対策に積極的取り組み(定住都市むなかたの柱の一つ)できないか。

答 労働局との雇用対策協定については、全国で協定を結んでいる自治体がある。前向きに検討し、障がい者の就労の場の確保に努めていきたい。

城山中学校の通学路変更について

問 城山中学校の改築に伴い、校門の位置が変わる。交通量も多く危険な陵殿寺交差点、踏切付近を避け、より安全な通学路に変更できないか。

答 最適な通学路について学校や保護者、地域住民と十分に協議し、通学路の変更について検討していきたい。

令和5年6月議会



所有者不明土地を生み出さない

宗像志政クラブ／石松 修



問 所有者不明土地が増加しているが市の対応は。

答 所有者不明土地の利用の円滑化等に関する特別措置法に市の努力義務が示されている。戸籍謄本の収集サポートやおくやみコーナーでの法定相続情報証明制度(※1)、相続登記の周知に努めている。また、市役所内の関係部署や外部の関係機関と横断的に連携し、終活に向けた支援にも取り組んでいく。

使用済みおむつの処分

問 保育所などの使用済みおむつの処分状況は。

答 園で処分している保育所などは令和5年2月時点の8園が、4月には11園に増えている。残る6園については、おむつを持ち帰らなくても、子どもの健康状態を共有できる方法を検討してもらおうと呼びかける。また、おむつ用ごみ箱の購入費用助成など、課題解決に向けた支援を行いたい。



令和5年3月議会



災害に備えて防災体制の強化は

宗像志政クラブ／石松 修



問 災害時には、自衛隊への派遣要請依頼や受け入れなどが大事になる。

答 令和4年12月、市主催で「みんなで知ろう! 自衛隊」が宗像ユリックスで開催された。イベントの目的、効果は。

答 自衛隊の災害支援の担当部隊や車両などが実際に来たことで、大規模災害時に向けたより具体的な訓練が行われたことが最も大きな効果だと考える。また、市民が自衛隊の災害支援活動について理解する機会となった。災害に備えた備蓄について、情報が不足して



いるのではないかと。令和5年度に計画している新たな防災マップの整備の中で、ホームページでの展開を含めて、改善を図っていききたい。家庭でのローリングストック(※3)など、平時からの取り組みが大変重要だと考えており、今後啓発に努める。

令和4年6月議会



学校の連絡手段のデジタル化を

宗像志政クラブ／石松 修



問 一斉メールシステムの導入状況は。また、欠席・遅刻などの連絡手段のデジタル化の状況は。

答 一斉メールシステムは21校中20校が導入している。欠席・遅刻などの連絡手段は電話、紙、メールやアプリなど3つの手段があるが、21校中3校がメールやアプリなどを利用している。導入している学校では、連絡の約9割でアプリなどが活用され、有効性を感じている。

問 連絡手段のデジタル化を進めることは、迅速な情報共有を実現し、学

答 デジタル化による負担の軽減については、施政方針と合致するものであり、システムの調査研究を進めて、なるべく早く導入できるように早急に指示をしていく。



令和4年9月議会



公正公平でバリアフリーな選挙を

宗像志政クラブ／石松 修



問 投票所、期日前投票所のバリアフリー化など、障がいのある人が投票しやすいように、どのような対応を行っているのか。

答 施設の段差解消などに加え、事務従事者への事前研修などにより代理投票や点字投票にも速やかに対応できるようにしている。本人の意思確認は、場合によっては事前にメモ書きなどを用意してもらおうと確実に確認できるようにしている。

問 サンリブくりにいと宗像に設置されている期



日前投票所を、投票当日に投票区にかかわらず投票できる「共通投票所」とすることはできないか。
答 来訪者が増えた場合の職員体制など、期日前投票所としての在り方についての課題もある。当日投票所の統廃合なども含めて課題を整理しながら、研究、検討したい。

(※2) パートナリシップ宣誓制度は性的マイノリティーなどの対象者が互いを人生のパートナーとして自治体に宣誓する制度。法的に婚姻と同等の効果はないが、公営住宅の入居など、各自治体が定める範囲の手続きにおいて家族と同じ扱いを受けることができる。

令和3年6月議会

市の窓口や公共料金などへのキャッシュレス決済の導入は、感染症対策、住民サービス向上、窓口の事務効率化、さらには国の推進する行政のデジタル化にもつながると考



キャッシュレス決済導入について
宗像市政クラブ／石松 修



問 今後の展望は。 答 取り扱い手数料などの事務処理上の課題を整理でき、市民ニーズが高まれば、より効果的なキャッシュレス決済の導入を検討する。また、来



令和3年3月議会

再犯防止推進法では、自治体は再犯防止推進計画を策定することが努力義務となっている。安全安心なまちづくりを進め



安全安心なまちづくりに向けて
宗像市政クラブ／石松 修



問 現状では再犯防止推進計画は策定していないが、安全安心な地域社会づくりのため、法務省が定めている手引きや近隣自治体の状況を勘案しながら、さまざまな視点から計画策定を検討したい。



更生保護のマスコットキャラクター
更生ペンギンのホゴちゃん

令和5年12月議会

運動部が先行しているが文化部の地域移行は、文化部には吹奏楽部、美術部、家庭科部、技術部、放送部がある。



中学校文化活動の地域移行は
宗像市政クラブ／石松 修



問 保が子どもたちのより良いスポーツ・文化芸術活動の機会を確保することや教員の負担軽減にもつながると考える。報酬など



文化部の活動(城山中吹奏楽部)

令和4年12月議会

所得にかかわらず、市内全ての子ども、子育て世代を対象とした支援が求められているが、市



全ての子どもに行政のサポートを
宗像市政クラブ／石松 修



問 大島・地島の保育環境の充実が離島の活性化、人口減少対策につながると思うが、市はどのように考えるか。市立大島へ



答 要望があることは承知しているが、保育士の確保が難しく、なかなか進んでいない。大島では一時預かりや住民同士で

令和4年3月議会

自治体広報・情報発信はどのようなものが求められるかと考えるか。



広報・情報発信の在り方について
宗像市政クラブ／石松 修



問 定例記者発表をライブ配信して、市民に直接情報を届けられないか。



答 他のSNSとの役割分担などを考慮しながら、市公式ツイッターの開設については検討したい。

令和3年12月議会

第3次宗像市男女共同参画プランの目標や取り組みは。



ありのままに大切にされる社会に
宗像市政クラブ／石松 修



問 性自認で配慮が必要な児童・生徒が本市の学校にも複数在籍している。各学校が、児童・生徒、保護者と話し合い、児童・生徒の希望や状況に



SDGs目標5
ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児のエンパワーメントを行う

問 パートナリシップ宣誓制度(※2)の導入は。 答 他自治体などの状況や動向を確認するとともに、既に導入している自治体からの情報収集に努

令和3年9月議会

景観維持と森林保全の必要性に鑑み、平成26年に支援制度の適用期間を1年短縮し、平成28年6月末までに変更する条例改正を行っており、現時点で支援の適用期間は



豊かな自然を守り、災害に備える
宗像市政クラブ／石松 修



問 太陽光発電所などの大規模開発に伴う課題は。 答 開発そのものを行う場所を制限する法律などがなく、開発を規制する条例の制定など今後の対応は、



ける条例の制定などは、財産権の尊重の観点から困難である。紛争を予防する観点から、今後も引き続き事業者などに対し、地域住民への丁寧な対応をお願いしていきたい。

令和2年12月議会

子どもたちがさまざまな文化芸術に触れる機会を提供している宗像市文化芸術振興条例に基づ



子どもが豊かに育ちまじり
宗像市政クラブ／石松 修



問 SNSを活用した情報発信の状況は。 答 SNSはフェイスブック、LINE、ユーチューブ、インスタグラムに市の公式アカウントを開設している。9月に開設したLINEは登録者数1万人を目標とし、今年度中に3千人を達成したい。



問 市の魅力や生活、防災情報などの発信に有効と思われる各種SNSの開設状況は。また、LINEの登録者数の目標は。 答 フェイスブック、LINE、ユーチューブ、インスタグラムに市の公式アカウントを開設している。9月に開設したLINEは登録者数1万人を目標とし、今年度中に3千人を達成したい。